

◆運営委員・幹事

運営委員長	坂根 康秀	香蘭女子短期大学	理事長・学長
運営副委員長	鈴木 利定	群馬医療福祉大学短期大学部	理事長・学長
運営委員	石田 憲久	青森中央短期大学	理事長
	大野 博之	国際学院埼玉短期大学	理事長・学長
	片桐 武司	中部学院大学短期大学部	理事長
	加藤 映子	大阪女学院短期大学	学長
	中野 正明	華頂短期大学	学長
	原田 博史	岡山短期大学	理事長・学長
	福井 一光	鎌倉女子大学短期大学部	理事長・学長
	吉田 幸滋	精華女子短期大学	理事長

(五十音順)

幹事	小松 茂喜	日本私立短期大学協会	事務局 局長
	防村 政彦	私学研修福祉会	事務局 局長

(順不同)
(敬称略)

アルカディア市ヶ谷（私学会館）案内図

所在地：〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2番25号

TEL: 03(3222)1006(直通)

JR・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線)市ヶ谷駅

(地下鉄の出口は 1、A1エレベーター、A4 のご利用が便利です。)



第 42 回 私立大学の教育・研究充実に関する研究会

◇短期大学の部◇ 実施要項

主催：一般財団法人 私学研修福祉会

協力：日本私立短期大学協会

目的 この研究会は、私立短期大学がそれぞれの「建学の精神」に基づいて、各私立短期大学の特色を発揮するとともに、教育・研究の質の画期的充実を図る方途を探究することを目的とする。

研究課題

『短期大学の今後の在り方 ～入試改革と教育改革～』

2020年、教育の在り方が大きく変わろうとしている。高大接続改革により、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的な改革が進められている。高等学校教育改革で「学力の3要素」の育成が行われ、大学教育改革で「学力の3要素」のさらなる伸長が求められる。そして両者をつなぐ入学者選抜において「学力の3要素」を把握することが必要になる。また、大学教育では3つの方針に基づき、主体的に考え行動できる人材を輩出していかなければならない。同時に確かな大学教育が行われたかを示す学修成果、そしてその可視化までが求められようとしている。

高大接続改革で求められる入試改革、大学教育改革はどうあるべきなのかを考える研修としたい。

◆研究期間 **《 令和元年11月25日(月) 》**

◆会場 東京 市ヶ谷「アルカディア市ヶ谷」(私学会館)

所在地：〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2番25号

TEL：03(3222)1006(直通) FAX：03(3222)5749

URL：<http://www.skf.or.jp/kensyu/>

◆参加対象 私立短期大学の理事長・理事・学長・学科長・事務局長 等

◆研究方法 講演、分科会

※申込について

締切日：令和元年11月15日(金)

申込方法：私学研修福祉会研修事業部ホームページ <http://www.skf.or.jp/kensyu/> から書式をダウンロードしてお申込みください。

研究内容

会期：令和元年11月25日(月)
会場：私学会館(東京・市ヶ谷)

研究会テーマ「短期大学の今後の在り方 ～入試改革と教育改革～」

10:30~10:40 (10分)	開会挨拶	一般財団法人私学研修福祉会理事長 上智大学学長	曄道 佳明
		研究会運営委員長 香蘭女子短期大学理事長・学長	坂根 康秀
10:40~11:50 (70分)	講演1	(文部科学省担当者)	
11:50~12:50		— 昼食・コーヒーブレイク (60分) —	
12:50~14:00 (70分)	講演2	『教育の接続としての高大接続改革』 講師:大谷大学文学部教授	荒瀬 克己
14:00~14:10		— 休憩 (10分) —	
14:10~15:20 (70分)	講演3	『高大接続改革と短期大学』 講師:リクルート進学総研所長 リクルート「カレッジ・マネジメント」編集長	小林 浩
15:20~15:50		— 休憩・会場移動 (30分) —	
15:50~17:30 (100分)	分科会	『短期大学の今後の在り方』	

(敬称略)

講師プロフィール

講演

荒瀬 克己 氏
あらせ かつみ

<略歴>

平成15年4月 京都市立堀川高等学校校長、24年4月 京都市教育委員会教育企画監、
26年4月 大谷大学文学部教授 (現在に至る)

<兼職>

京都市教育委員会指導部顧問、関西国際大学客員教授・学長特別補佐、福井大学教職大学院客員教授、兵庫教育大学理事

<その他>

文部科学省中央教育審議会委員・初等中等教育分科会長、新しい時代の初等中等教育の在り方特別部会長、同「大学入学共通テスト」検討・準備グループ委員、大学入試センター大学入学共通テスト企画委員会委員、スーパーサイエンスハイスクール (SSH)支援事業の今後の方向性等に関する有識者会議委員、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構国立大学教育研究評価委員会委員等

小林 浩 氏
こばやし ひろし

<略歴>

昭和63年 株式会社リクルート入社後、グループ統括業務を担当、「ケイコとマナブ」企画業務を経て、大学・専門学校の学生募集広報などを担当。経済同友会に
出向し、教育政策提言の策定にかかわる。その後、経営企画室、会長秘書、特別顧問
政策秘書などを経て平成19年よりリクルート進学総研所長、リクルート「カレ
ジ・マネジメント」編集長 (現在に至る)

<兼職>

文部科学省専修学校生への経済的支援の在り方に関する検討会委員、同 中央教育
審議会大学分科会教学マネジメント特別委員会委員、(公財)大学基準協会広報委
員、大学評価委員、(公財)日本高等教育評価機構広報委員、大学評価判定委員

※研究会の最新の内容につきましては、当会ホームページにてご確認ください。